

へいわって なに？ 4歳児

ゆりあ せんせい
へいわって にこにこってことでしょ



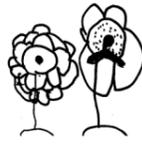
へいわについて感じたこと、考えたことが、ゆりあなりに表現した言葉となった。

おかあさんといっしょがいい 1歳児

ちがう部屋に移動する時、保育者に抱っこされていた はるな。
母が先に部屋から出ていき、姿が一瞬見えなくなると…

はるな (母が出ていった方向をじっと見つめ、動きを止める。それまで笑っていた表情が驚きに変わり、深刻な表情に…)

(そこに母が戻ってきて姿を見せると)



はるな んーっ



声を出して眉を下げ、近づいてくる母に抱っこしてもらおうと、一生懸命手を伸ばす

母の姿が見えなくなったことで、驚きと不安の気持ちがいっぺんに押し寄せたようです。
母が戻ると一生懸命に母の方に体を伸ばす姿を見て、“おかあさんといっしょがいい”という強い気持ちがよくわかりました。

わたしのくちに・・・ 5歳児



友達にきつい口調で関わってしまうことで、よくトラブルになるひろ。どうすればいいかと悩んでいた時に、一緒に話を聞いていた えりとの会話。

ひろ もう わたしのくちにテープはったらともだちにいやなこといわへんとおもうねん



えり でもそんなんしたら「いっしょにあそぼう」とかたのしいことも いえなくなるで

たのしいこと いっぱいいえるほうがじぶんもたのしいで



えりもつつい言い方がきつくなってしまう事があり、気持ちがわかるからその一言です。ひろも この一言にハッとして、気持ちを切り替えて元気な表情になりました。

だいすきだから おこるんだ 0歳児

食べることが大好きな みのり
みのり担当の保育者がおかゆを一口あげると…



(部屋中に響くくらいのおおきな声で)
みのり あー！！(これ食べたくないの！)
ぶー (怒って唇を震わせる)

成長と共に、好きな物と苦手なものが始め、声を上げ、身振りでその気持ちを出している みのりの姿でした。
でも担当保育者以外が食べさせると、しーんと静かに食べていて、担当との関係がしっかりできているからこそ、甘えたり、怒ったりして、自分の気持ちをしっかり出していることを感じさせられました。

なんで いれたん？ 2歳児

片栗粉で感触遊びをしている時

保育者 片栗粉とろとろだよ
(水で溶いた片栗粉を手から垂らして見せる)
さよ (嬉しそうにぴよんぴよん飛び跳ねながら)
とろとろー！
保育者 どうぞ～(さよのカップに入れる)
さよ (保育者が入れ終わるまで、じーっと見ている)
なんで いれたん？
保育者 (さよは「入れてほしい」とは一言も言っていないかった…)

しっぱいしても だいじょうぶ 2歳児

給食でお汁をこぼした時のやりとり



みき こぼれたー
保育者 はい
じろう しっぱいしても だいじょうぶ
こうじ しっぱいしても だいじょうぶやなあー

春から「失敗しても大丈夫！」という言葉が保育者が伝えてきました。その中で、こぼした時、トイレに間に合わなくておしっこが出てしまった時、こけた時、生活や遊びの場面で「あ！」と思った時に、子どもたち同士で真似をして「しっぱいしてもだいじょうぶ」と伝え合うようになりました。

第30回 子どものつぶやき



令和5年度(2023年度)

次代になう子ども達が、生き生きと、健やかに育ち、

力を合わせて明るい未来をつくりあげてくれることを誰もが望んでいます。

しかし、戦争や貧困など世界的な問題や、不適切保育や虐待など子どもの人権が尊重されていないと感じる厳しい状況があります。

「子どもの権利条約」にみられるように、子どもが一人の人間として尊ばれ、よりよい環境の中で成長・発達できるような仕組みを作ることが重要な課題となっています。

豊中市では、平成25年(2013年)4月に「豊中市子ども健やか育み条例」を制定し、子ども一人一人が健やかに育ち子どもや子育て家庭に関わる全ての人がつながり、社会全体で子どもを育む地域社会の実現をめざしています。

そして、就学前施設では「豊中市人権保育基本方針」にもとづき、一人一人の子どもの人権を大切にすることを基本に、すべての子どもに豊かな感性を育てお互いを大切にすることを培い、人権尊重の基礎的な資質を養うことをめざした人権教育・保育をすすめています。

「子どものつぶやき」は、人権教育・保育の中で大切にしてきた取り組みの一つです。

子ども達は、日ごろから友達や大人と関わって遊び、生活する中で“うれしいこと”“悲しいこと”“驚いたこと”“腹が立つこと”“求めたり望んだりしていること”など様々なことを感じ、表現しています。
このような子ども達の「思い」を表現したものを言葉だけでなく、しぐさ・動き・表情などを含めて、「つぶやき」としてとらえています。



こわしいで 3歳児

かいとが積み木を重ねて遊んでいると、りょうが手で倒してしまう



かいと やめて こわさんといて

保育者 どうしたの?

かいと りょうちゃんがこわしてくる



(でも、何度もりょうは かいとの積み木をこわす)

さとし りょうちゃん こわすのすきなんちゃう?

(さとしが積み木を重ねる)

さとし りょうちゃん これ こわしいで

(りょう こわす)

りょうの気持ちに気が付き、寄り添っていたさとし。そして、さとしの行動を見た かいとも「じゃあ これならこわしいよ」と別の積み木を重ね、一緒に積み上げては壊すことを繰り返していました。

どうして いつも わたしなの? 0歳児

お昼寝の時、保育者が最初に あかり に「ねんねしようね」と声をかけると

あかり んー! んー!

(まだ遊んでいる友達を指さして怒る)

保育者 みんな順番に寝るよ。ねんねしようよ。

あかり (口をとがらせ、さらに強く)

んー! んー! (友達を指さし抗議する)

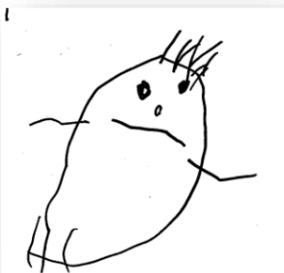
保育者 わかりました。

今日は たかしくんからトントンするね。

あかり (ニコッと笑う)

お昼寝は保育者がひとりひとり誘って、(背中をやさしく)トントンして寝かすようにしています。

ついつい「手のかからない子どもから先に…」という保育者の考えを反省させられる場面でした。



「つぶやき」が私たちに教えてくれること

子どもは、大人の表情や関わり方を見て、モデルにしている

*つぶやきを読んでみると、人を軽く見るような関わりも、自分の思いを弱みも失敗も子どもに見せながら相手のことを大事にして関わっていることも、大人の関わりを、子どもはしっかり見ているのだということがわかります。大人が、子どもを(人を)尊敬して関わっていることが、子どもが人を尊敬して関わることに繋がっています。

大人の正義と子どもの思い

*子どもの思いを大切に保育したいと思っっているけれど、保育や子育てって2択になっていることが多くなっているように思います。「早く」「ちゃんとして」「なんでいう事が聞けないの?」と大人の言う通りにさせてしまう、あるいは、虐待を疑われるのでは? 子どもは泣かさないようにしなければと思って、子どもの言うとおりにしてしまうというように「どちらか」になっているのではないのでしょうか。子どもの言う通りでもないし、大人の言う通りでもない、お互いに譲歩して少し歩み寄って、納得できる解決を目指すと思っています。そうすれば、不適切保育というような問題になる関わりはなくなるのではないのでしょうか。

自分らしくありたいと思っっている子どもの気持ちを大事にできていますか?

*子どもは、守るべき守られるべきものではありませんが、子ども自身も自分の思いを持っていて、伝えたいと思っっている。その思いを、大人がどれだけ尊重しているのかが問題だと思っっています。子どもも、はじめは、『違うこと』はマイナスイメージですが、あそびの中で認め合い、関係が変わってきます。それを、保育者は喜びとらえています。

この子どものつぶやきを
保育者が大事にすることで、一人一人が
『自分らしくあっっているんだ!』



と思ってくれたらいいなと思っっています。

おおきくなったり、ちいさくなったりする 5歳児

園舎の建て替え工事で、クレーン車が止まっていた時

たつき クレーンしゃ おおきいな
(保育室の中でしゃがみ、クレーン車の先を見上げる)

じょう ほんまやな (たつきの真似をする)
(たつきとじょうはクレーン車を見にテラスに出る)

たつき なんか ちいさくなった!
じょう ほんまや ちいさくなった!
(保育室にまた戻ってくる)

たつき また おおきくなった!
じょう おおきくなったり、ちいさくなったりする!

保育室の中からはクレーン車の先までは見えないが、テラスに出ると先まで見えることに気づいた、たつきとじょう。保育室を行ったり来たりして見え方の違いを楽しんでいました。

どうしたらいいの? 4歳児

お母さんが妊娠中で、入院されていた。出産後しばらく入院していて、急に、その日の夜にお母さんと赤ちゃんが帰ってくることを知らされる。

誕生会に行こうとしている時にシクシクと泣き出す ゆきと

保育者 どうしたの?

ゆきと …… (涙が止まらない)

保育者 何で泣いているの?

ゆきと あかちゃんがきょうかえってくる

保育者 赤ちゃんが今日帰ってくるって言ったの?

ゆきと うん…どうしたらいいの…?

(涙があふれて止まらない)

大好きなお母さんが長期入院されて不安でしたが、赤ちゃんが生まれることも不安だった ゆきと。「赤ちゃん、もういや!!」という姿もあり、不安な気持ちがあふれてしまった場面でした。

せんせいはどうなの? 3歳児

お昼寝前、たつやが保育者と一対一でパジャマに着替えていた、ゆったりとした時間

たつや たつやくん はなこせんせいのことすきだよ

保育者 はなこせんせいも たつやくんのことすきだよ

たつや たつやくんは たつやくんのこと すきな

保育者 そうなんだね

たつや はなこせんせいは はなこせんせいのこと すき?

「せんせいのこと すきだよ」「せんせいも すきだよ」は、いろいろな子とよくするやり取りですが、その続きは珍しく、とても驚きました。たつやにとっては何気ないやり取りだったと思いますが、大人としては自己肯定感の高さや深い問いかけが、とても印象に残りました。

ここに紹介している「つぶやき」は、

「令和5年度(2023年度)子どものつぶやき展」

で展示している「つぶやき」の一部です。